
沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学三者共催
第29回 琉大未来共創フォーラム
「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2025」の開催について
～首里のまちづくり 復興の軌跡～

琉球大学は、沖縄県及び沖縄県立芸術大学と三者共催にて、令和7年10月12日(日)に沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)にて第29回琉大未来共創フォーラム「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2025」を開催いたします。基調講演には伊従勉先生を迎え、様々なステークホルダーと連携し、全4部構成のシンポジウムを開催いたします。

事前申し込み制で参加費無料です。皆様奮ってご参加ください。

イベント申し込みフォーム: <https://forms.office.com/r/wKRnNc6neF>

※右記のQRコードからお申込みいただけます。



申し込みフォーム

イベント公式WEBページ:

<https://ura.skr.u-ryukyu.ac.jp/main/syurinetwork/pg5962134.html>

※右記のQRコードからも閲覧可能です。



イベント公式
WEBページ

歴史文化・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します。

【イベント趣旨】

沖縄県は令和3年3月に首里城復興基本計画を策定し、首里城の復元はもとより、首里城に象徴される沖縄の歴史文化の復興(ルネサンス)に取り組むという基本方針のもと、様々な関係者と方向性を共有し計画を着実に推進することを表明しました。沖縄県立芸術大学は開学以来、伝統芸術の継承と発展に寄与する人材の輩出に貢献する中、継続開催している文化講座・公開講座を通じて沖縄の歴史・文化の理解と普及に努め、沖縄の歴史文化のルネサンスの一翼を担っています。

琉球大学は、首里城再興学術ネットワークを立上げ、県内の大学等を核に広範囲な学術ネットワークを構築することにより、教育・研究面で首里城再興に貢献することを目指しているところです。

そこで、行政、芸術、人材育成、学術の面から首里城復興と沖縄の歴史文化のルネサンスに関わっている沖縄県、沖縄県立芸術大学、琉球大学が合同し、関係者の協力を得て、シンポジウムを開催する。シンポジウムのねらいは、以下の4つとし、幅広い層の県民参加と様々な関係者の交流の場となることを目指しています。

- 1.参加者と首里城復興に関係する様々な取組を共有します
- 2.参加者に沖縄の歴史・文化の再発見の機会を提供します
- 3.参加者と歴史文化を基調とした沖縄の未来像を考えます
- 4.若年層を含めた沖縄県全域の幅広い層の県民に参加・交流の場を提供します

「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2025」について

【開催概要】

イベント名: 第29回 琉大未来共創フォーラム「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2025」

主催者等: (順不同)

共催: 沖縄県、沖縄県立芸術大学、琉球大学

協力: NPO 法人首里まちづくり研究会(予定)

後援: (予定)内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

日時: 令和7年10月12日(日)13:00~17:10 (12:30 開場)

開催形態: 対面(後日オンデマンド配信)

実施場所: 沖縄県立博物館・美術館(おきみゆー) 講堂及び博物館講座室
(那覇市おもろまち3丁目 1-1)

定員数: 100名(事前申込制)

【プログラム】

時間		プログラム
13:00~13:05	5分	開会のあいさつ
13:05~13:55	50分	第1部: 基調講演
13:55~14:00	5分	休憩
14:00~14:50	50分	第2部: ポスターセッション
14:50~14:55	5分	休憩
14:55~15:55	60分	第3部: 口頭発表
15:55~16:05	15分	休憩
16:05~17:05	60分	第4部: パネルディスカッション
17:05~17:10	5分	閉会のあいさつ

(1)開会の挨拶: 5分 (実施場所: 講堂) 琉球大学長 喜納 育江

(2)第1部 基調講演 (実施場所: 講堂)

「戦災滅失国宝建造物の復元と戦後沖縄における歴史的風景の復元」

京都大学名誉教授 伊従 勉 氏

【演者紹介】

京都大学名誉教授、京都大学工学研究科建築学博士課程修了、パリ・ヴィルマン建築大学 CEAA 学位取得、民族芸術学会評議員、現在、内閣府沖縄総合事務局首里城復元に向けた技術検討委員会委員

【講演概要】

一度消滅した歴史的建造物の復元は、長らく文化財保護法がその基準を規定していない行為対象であった。だが戦後沖縄には、修理も復元も、琉球政府文化財保護委員会が行った20年間がある。

日本法下に戻って主要歴史建造物の修理・復元が継続する現在、市街地の歴史建造物復元が、文化財保護法の範囲に収まらない広範な歴史的市街地景観復元・形成計画と事業にならざるを得ない事情を考えてみる。

(3)第2部 ポスターセッション(全12題):50分 (実施場所:博物館講座室)

関係機関から募集した首里城の復興及び沖縄の歴史・文化の再発見に関する研究・取り組みについて全12題のポスター発表を行います。

- ①「首里城学術ネットワークの紹介」
首里城再興学術ネットワーク 古堅 勝也 日高 悠登
- ②「琉球大学の開学へのあゆみ」
首里城再興学術ネットワーク 古堅 勝也 日高 悠登
- ③「風水文化景観の視点から読み解く首里地域観光・比較文化資源としての可能性」(仮)
琉球大学 農学部 准教授 陳 碧霞
- ④「木材の乾燥収縮によって生じる部材接合部の緩みが構造性能に与える影響に関する研究—首里城正殿竣工後の維持管理手法構築への取り組み—」
琉球大学 工学部 助教 尾身 頌吾
- ⑤「石造文化財保護に対する風化プロセス研究の貢献—首里城再興研究プロジェクトにおける地形学の役割—」
琉球大学 教育学部 准教授 尾方 隆幸
- ⑥「首里城正殿の玉座背後の御床の板壁と「おせんみこちや」の板壁に使用された塗料の研究」
琉球大学 理学部物質地球科学科物理系四年 岩切 ゆうな
- ⑦「戦跡考古学の現状と課題」
琉球大学 国際地域創造学部 准教授 主税 英徳
- ⑧「持続可能な観光を目指す観光地マネジメントのための基礎調査:首里城周辺における地域住民の観光に対する態度の研究」
琉球大学 国際地域創造学部 准教授 宮國 薫子
- ⑨「首里城復興基金事業について」
沖縄県土木建築部首里城復興課復元整備班 玉那覇 恵大
- ⑩「中城御殿整備について」
沖縄県土木建築部首里城復興課復興推進班 新里 一博
- ⑪「円覚寺跡の発掘調査成果」
沖縄県埋蔵文化財センター 主任専門員 金城 貴子
- ⑫NPO 法人首里まちづくり研究会

(4)第3部 口頭発表(演者3名、各発表20分):60分 (実施場所:講堂)

首里城の復興及び沖縄の歴史・文化の再発見等に関する取り組みを行っている学術機関、行政機関及び団体等から選出された下記のテーマについて、各機関の代表者による発表が行われます。

- ①「歴史の重層からとらえる首里の町 戦前・戦中・戦後の記憶の継承」
琉球大学工学部 教授 清水 肇
- ②「首里城と中城御殿、ならびに首里の民俗的祭祀」
沖縄民俗学会 会長 萩尾 俊章
- ③「沖縄県立芸術大学 39年の歩みと首里のまちとの繋がり
—五芸祭を契機とした地域連携の可能性—」
沖縄県立芸術大学美術工芸学部 教授 宮里 武志

(5)第4部 パネルディスカッション:1時間 (実施場所:講堂)

基調講演、口頭発表、ポスターセッションで紹介された様々な取り組みを踏まえ、「首里のまちづくり復興の軌跡」について、パネリストから発言いただきます。

テーマ <首里のまちづくり 復興の軌跡>

首里城は、戦前、熊本鎮台に接收されて軍事施設となり、その後、首里市(区)の管轄になると学校施設や宗教施設(沖縄神社)として使用され、先の大戦では地下に第32軍司令部壕が設けられた。戦後、1950年の琉球大学・86年の沖縄県立芸術大学の開学、そして平成の首里城復元へと、いくたびもの変遷を経ながら復興を遂げてきた。令和の首里城復興および周辺の整備が進む中、首里のまちがどのようなまちへと形づくられていくのか、これまでの復興の軌跡をたどりながら考えたい。

- ① 【学術】京都大学名誉 教授 伊従 勉
- ② 【学術】琉球大学工学部 教授 清水 肇
- ③ 【学術】沖縄民俗学会長 萩尾 俊章
- ④ 【学術】沖縄県立芸術大学美術工芸学部 教授 宮里 武志
- ⑤ 【行政】沖縄県土木建築部 参事 奥間 正博
- ⑥ 【ファシリテーター】沖縄県立芸術大学 副学長 久万田 晋

(6) 閉会の挨拶:5分 (実施場所:講堂) 沖縄県立芸術大学長 波多野 泉

琉球大学全景-1953年頃



沖縄県立芸術大学全景-1996年頃



首里城正殿の素屋根-2025年
(2026年秋・完成予定)



沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学共催

第29回
琉大未来共創フォーラム

首里城再興 学術ネットワーク シンポジウム2025 ～首里のまちづくり 復興の軌跡～

令和7年

日時

10月12日【日】

13:00～17:10
(12:30 開場)

会場

沖縄県立博物館・美術館 (おきみゅー)
沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

定員

100名 (先着順・事前申込制)

入場無料



首里/中城御殿の家門(正門)-戦前
(提供) 那覇市歴史博物館

◇プログラム \ 歴史文化・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します /

13:00 開会挨拶 琉球大学長 喜納 育江 氏

13:05 第一部 伊從 勉 氏「戦災滅失国宝建造物の復元と
基調講演 戦後沖縄における歴史的風景の復元」

14:00 第二部 ポスターセッション (発表12題)

14:55 第三部 清水肇氏「歴史の重層からとらえる首里の町 戦前・戦中・戦後の記憶の継承」
萩尾俊章氏「首里城と中城御殿、ならびに首里の民俗的祭祀」
口頭発表 宮里武志氏「沖縄県立芸術大学39年の歩みと首里のまちとの繋がりー五芸祭を契機とした地域連携の可能性ー」

16:05 第四部 パネルディスカッション 「首里のまちづくり 復興の軌跡」

17:05 閉会挨拶 沖縄県立芸術大学長 波多野 泉 氏



伊從 勉 氏

【お申込みはこちら】



イベント詳細は
こちらからも
ご確認いただけます



協力：NPO法人首里まちづくり研究会

問合せ先：琉球大学 知創推進部 地域連携推進課

Mail : chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

※フォーラム前日および当日のお問い合わせは、対応いたしかねますのでご了承ください。



地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学

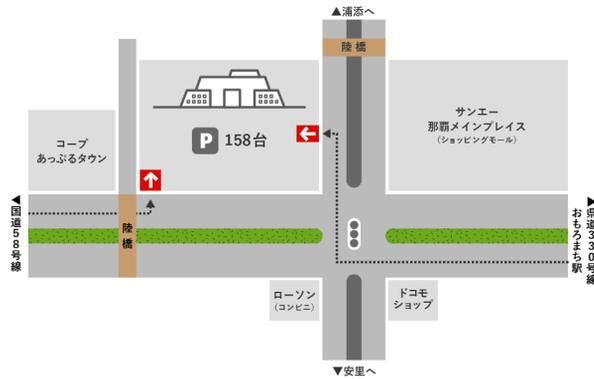
第29回 琉大未来共創フォーラム

Island wisdom, for the world, for the future.

アクセスマップ

車・レンタカー・タクシーでお越しの方

- 那覇空港から車で約30分。無料駐車場あり
 - ・一般駐車場：158台（うち身体障がい者用4台）
 - ・駐輪場：25台
- ※時間帯によっては、遅延が生じる場合があります。



沖縄県立博物館・美術館周辺の地図



バス・モノレールをご利用の方

イベント終了時刻は車通りが増えてくる時間帯ですので、ご来場の際はモノレールのご利用もおすすめです。

詳しくは、右記QRコードからご確認ください。



参加登録

ご参加までの流れ

- ①下記URL又はQRコードから、お申し込みフォームへアクセスし必要情報をご入力ください。
- ②必要事項を記入し、参加登録完了のメールをご確認ください。
- ③当日は、沖縄県立博物館・美術館にお越しください。



お手数ではございますが、複数名で一緒にご参加予定でもお一人ずつ申し込み登録をお願いいたします。

※ご記入頂きました個人情報は本フォーラム開催準備の為に使用いたします。個人情報は、主催関係者を除く第三者に開示・提供することはありません。

ご参加申し込みは下記URL・QRから承ります

動画は後日オンデマンド配信します

お申し込みURL：<https://forms.office.com/r/wKRnNc6neF>
 ※サイト内必要事項のご記入を宜しく申し上げます。
 ※申込受付締切：令和7年10月8日（水）17：00迄



〈問合せ先〉
 琉球大学知創推進部地域連携推進課
 TEL：098-895-8087
 ※平日9:00~17:00（12:00~13:00を除く）
 メール：chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

地域連携推進室 YouTubeチャンネル

シンポジウムの様子は、後日地域連携推進室のYouTubeチャンネルにてオンデマンド配信します。

